

飯能西中だより



天覧山 2月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和3年度 第11号
令和4年2月1日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

皆様に支えられ 飯能西中学校は今年度50周年を迎えました。

まん延防止等重点措置の発令にあたって

校長 中村 公一

このところ朝夕冷え込む毎日が続いています。新型コロナウイルスの感染が再び急増し、保育園や学童をはじめとして小学校や中学校においても感染の広がり見せ始めています。先月から蔓延防止等重点措置が取られることとなり、既にお知らせしましたように中学校の部活動については平日2日間のみ活動に制限されることとなりました。今後は状況によって学級閉鎖を余儀なくされることが増えてくると予想されますが、インフルエンザの場合とは異なり、1回の学級閉鎖等では収まらないのではないかと考えられます。そのため学校と致しましてはできる限り Zoom を使ったオンラインでの授業も行っていきますが、教員が罹患して療養が必要となった場合にはそれも難しくなることから、今後の学校運営は楽観視できない状況にあります。また、学校職員の家族等が陽性になり自宅待機となった場合には、最長で20日間程出勤できなくなることから、自宅待機の職員が増えた場合には、生徒の登校や、給食の提供といった学校の機能を維持できなくなることが予想されます。この場合学校からの連絡を印刷物の配布を通して行うことは困難なため、メール配信を通しての連絡となりますことをあらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。今、日本全国において休校や学年・学級閉鎖が相次いでいます。近隣の学校でも学級閉鎖をする学校が出始めていますが、インフルエンザと違い無症状の場合が多いので、前触れもなく突然陽性者が判明することがあるため学校の対応をいっそう難しくしています。例えばある学校関係者が濃厚接触者となり検査を受けた結果陽性となった場合には、検査をした日から二日間さかのぼってその学校関係者との濃厚接触者を絞り込んでいきます。もしもそれまでに無症状のまま気が付かないで学校に来ていたとすると、学校内に濃厚接触者が発生してしまうことになります。クラスの中に風邪症状の人がいなくても濃厚接触者になってしまうということが十分に考えられるわけです。実際の濃厚接触者の判定はそのときの状況を調べて教育委員会と相談して決めていくこととなりますが、急に自分が濃厚接触者だと判定される場合や、急に学級閉鎖が決まるということもあり得るということについてご理解をいただきたいと思っております。いずれにしてもこれまで以上に感染対策等を行い、感染が広まらないようご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。

大人になるとはどういうことか改めて考えてみましょう

生徒の皆さんへ

成人年齢が18歳に引き下げられたことについては皆さんもよく知っていることでしょうか。飲酒や喫煙等が許される年齢は変わりませんが、賃貸契約や証券口座の開設など自立するのに必要な契約を自分で交わすことが出来るようになるので、起業する(自分で会社を起こす)こともできるのです。一方で未成年者を保護するための法律などは適用されなくなるので、悪質な商法で消費者被害に遭わぬよう自分自身で気をつけなければならず、責任が増えるということも知らなくてはなりません。大人になる(成人する)というのはこのように単に成人年齢を迎えるということではなく、自分の行動に責任を持てるようになるということなのです。私たちの周りでも、落書きなど公共物に対するいたづらや、公共の場所での大声や悪ふざけといった迷惑行為など、成人にふさわしくない行為が見られるのはとても残念なことです。先日、本校に山手交番から電話がありました。冬休みの期間中のことですが、本校の美術部の生徒が部活動を終えて帰宅する途中に、風で飛ばされて道路の真ん中に散らばっていた障害物に気づき、片付けてくれたことに感謝を伝えたいとのことだったのです。成人年齢になっていなくとも、もうすでに心が大人になっている人もいます。

校長講話から

先日の学校朝会では、以前私が赴任していた中東のバハレーンの写真を中心に、ヨーロッパやアフリカの国々の様子を写真で紹介しました。世界には様々な人種の人々がいて、それぞれが様々な文化や価値観を持って暮らしています。例えばデーツはアラブにおいてポピュラーな食べ物の一つですが生徒の中で食べたことのある人はあまりいないのではないのでしょうか。また、アラブを代表する動物と言えばラクダですが野生のものはいません。すべて牧場で飼われているのですが、毎朝、何百頭ものラクダを一般の道路で散歩させていることなど思いもよらないことでしょう。このように世界中には皆さんが知らないことがたくさんあります。これからはグローバルな社会になると言われていますが、世界で通用する人間になるためには、このような食べ物や服装から宗教上の習慣まで、様々な違いに順応できるように成長していかななくてはなりません。

このとき、大切になるのは「自分とは違う意見や考え方にこそ耳を傾けよう」ということです。成長とは、自分が「今まで分からなかったことや出来なかったこと」が、「分かるようになったり出来るようになったりすること」と言えますから、自分の習慣や考え方に固執していたら自分自身が変わっていく要素が少なく、とても成長などは見込めません。つまり自分自身が成長していくための鍵は、自分とは違う考え方の中にこそあると言えるのです。前回の校長講話でもお話ししたように、自分とは違う考え方に耳を傾けることには困難や苦痛を伴うかもしれません。けれどもそれを避けてはいつまでも成長できません。ほんの少しでかまわないので成長を心がけてみてはどうでしょうか。

これも以前お話しした事なのですが、毎日、他の人よりも0.1%だけ、つまり1000分の1だけにかまわないので、他の人より多く成長できるように頑張っていくのです。1日にたった0.1%の差であっても、これを365日続けていけば1年後には他の人の1.44倍もの成長につながっていきます。けれども、逆に他の人より0.1%だけ手を抜いていった場合を同じようにして計算して考えれば1年後には他の人の0.69倍の成長で終わってしまうことがわかります。

社会に出てみればすぐに分かりますが、世の中には自分の思うように行かないことがたくさんあります。むしろ思うようにならないことばかりだと言った方がいいかもしれません。それにくじけないようにするためにも、自分とは違う意見に耳を傾け成長し続ける必要があるのだと思います。さっそく今日から頑張りましょう。

これからはグローバル社会
世界で通用する人になるように
成長していこう

自分が思うようにはいかないこと
もたくさんあります

自分とは違う意見にこそ
耳を傾けよう

いままで
分からなかったこと 出来なかったこと
が
分かるようになる 出来るようになる
のが成長です
自分とは違う考え方の中に
成長の可能性があります

少しでも成長をしよう

毎日、0.1%成長するだけでも
365日続ければ
1.44倍の成長になります
毎日、0.1%手を抜くだけで
365日続ければ
0.69倍の成長で終わります

○ 2月の主な行事予定 ○

2月 1日 (火)	1・2年教育相談 教育相談最終日は2月9日	16日 (水)	3学年学年末テスト テスト前部活動停止
5日 (土)	学校公開は中止 生徒は休日となります	17日 (木)	県立高校志願先変更
7日 (月)	弁当持参 (給食無し) 学校公開日がなくなったため 振替休日ではなくなります	21日 (月)	期末テスト (1日目)
10日 (木)	新入生1日入学 保護者対象の説明会のみ実施 県立高校出願日 (郵送))	22日 (火)	期末テスト (2日目)
		24日 (木)	県立高校学力検査 3年生給食無し
		28日 (金)	県立高校学力検査 (実技) 3年生給食無し 第3回学校運営協議会

第3回学校運営協議会の傍聴を希望される方は本校教頭までご連絡ください。